

救命教室



2024年11月30日(土)

準備ができれば、人工呼吸



三次消防署よりきていただき、小児向けの胸骨圧迫や心肺蘇生、AEDの使い方等、窒息時の対応を教えてくださいました。

実際には起こらない事を願いつつ、もしもの時を想定しながら、救命行動が取れるように、講習を受けました。知識として知っていても、実際にする難しさを感じました。思った以上に胸骨圧迫をやり続ける事はしんどく、周りの人との協力が無いとできないことだと感じました。子どもは身体が小さいので体内の酸素量が少なく、胸骨圧迫をすることで酸素を脳へ供給することができ、生存率が変わってくるそうです。日々の中で、訓練を行いながら、命を救えるようにしていきたいです。